



蔭 鑫 (リン キン) さん

国籍：中国

出身大学：埼玉大学大学院

専攻：経済科学研究科

内定先：(株)武蔵野

□日本に留学した動機

私は、父の仕事の関係で、1996年から2年間福島県郡山市の中学校に通った経験があります。そのときの「日本はいい国だな」という印象が、中国で大学を卒業するときに、もう一度日本で学びたいという思いになって、日本留学を決意しました。

□日本で就職する理由

再び日本に来て、やはり「日本はいい国だな」という思いは確信に変わり、いつしか「日本で永く働きたい」と思うようになりました。確かに中国は経済的には発展していますが、大都市を除けば日本との給与差はまだ大きいと感じていますし、給与面よりも私が重視したのは、環境や食の安全等のソフト面で充実していることが大きかったです。

□現在の就職先の選択理由

たまたま面接以外で人事担当者とお話する機会に恵まれ、ざっくばらんにいろいろなお話をさせていただきました。そのときの雰囲気がとてもよく、「こんな雰囲気の会社に入りたい」と思いました。

□企業への自己PR、アピールポイント

- ・アルバイトでのがんばり。
- ・中学時代からいままでの日本での生活の中で、あまり日本語もしゃべれなくて人間関係がうまく行かず、引きこもりになってしまった時期がありましたが、そのとき、それをどうやって抜け出し克服したか、そのときに学んだ教訓についてアピールしました。
- ・自己PRは、もちろん、自分で考え書いたものですが、日本語としても内容的にも出来が

よかったらしく、ときには「本当に自分で書いたのですか。」といわれるくらいでしたので、その文章力が評価されたのかもしれませんが。

□就職活動開始時期と応募企業数

2年生の時からはじめましたが、なかなか内定に至らず、留年を繰り返しました。

1年目：エントリー20社、面接 4～5社

2年目：エントリー7社、面接 2社

3年目：数社エントリーし、面接もしたがすべてNGを受けて挫折。中断。

4年目：大学の国際交流センターの先生から GGS に相談するようにアドバイスいただき、相談するようになりました。最初は、落ち込んでいた私ですが、GGS の相談員の方がとても熱心で、いろいろと励まされているうちに、この人を裏切っては申し訳ないと思うようになり、頑張ることができました。

□具体的な就職活動内容

ターゲットを大企業から中小企業に移していく段階で、そちらに強みのある GGS オンリーで活動しました。

リクナビ、マイナビにも登録していましたが、GGS に登録して相談するようになってからは、あまり利用しませんでした。



□役に立った、または心に残るアドバイス

- ・ GGS 相談員の熱心さ
- ・ 大学の国際交流センターの先生からの一言：「リン キンさんなら大丈夫よ！」

□事前準備、企業研究

企業の HP 程度

□エントリーシート、履歴書

市販されている本を買って勉強しました。

□面接での注意点

面接は苦手でしたが、内定した会社の面接では不思議と緊張しなくてリラックスして臨むことができました。振り返って考えると、それまでに何度となく面接に挑戦し落ちた経験があったからこそ、最後の舞台上で落ち着いてできたのだと思っています。

□抱負と将来設計

中国にいたときは、中流階層になればいいと思っていました。例えば、一戸建ての家と車を持ち、子供は2人ぐらいもてるような経済力があればいいと思っていました。

でも日本に来て、いまは、もっと高い目標がなければ人生はつまらないと考えるようになりました。日本では、まだ外国籍で会社の役員になる人は少ないと思います。なので、私は、あえて会社の高層（役員）を目指して頑張りたいと思います。もちろん、私の能力にもよりますが…。

□後輩へのアドバイス

一番重要なのは、自分の気持ちだと思います。「ダメなら国へ帰ろう」等、人間逃げ道があると頑張らなくなってしまう。逃げ道を断ち、自分を追い込み、本気で臨んでください。

もし、助けが必要なときは自ら積極的に GGS のような機関に相談することです。自分ももっと早く GGS の存在を知って相談していたら、もっと早く内定をもらえていたかもしれません。(笑)

□GGS から一言

リン キンさんが内定を勝ち取った会社は、中堅食品メーカーです。でも、そこにたどり着くまでには、たくさんの失敗や挫折がありました。それでも最後に良い結果を得ることができたのは、人のアドバイスを受け入れる素直さと、決して諦めず、退路を断って前進した気力・根性の賜物ではないでしょうか。リン キンさん、就職内定本当におめでとうございます！